

令和7年度 外国語科 授業改善推進プラン

大田区立東調布第三小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・目標値、区の平均、全国平均、どの分類でも平均正答率を上回る結果となった。特に「聞くこと」の領域において、目標値を大きく上回る結果がでた。日頃の ALT と英語専科のやり取りを聞き、会話を理解しようとする習慣が身についたことが今回の結果につながったと考えられる。
- ・昨年度は、教科書のアクティビティーやリスニング問題を多く活用したことで単語や表現の定着繋がり、児童の知識習得につながったと考えられる。

(2) 課題

- ・「会話全体の理解（聞く）」の小問において、目標値を下回った。曜日の英単語の定着が不十分だったと考えられるため、日々の学習の中で日付、時間、曜日は常時スモールトークで確認する必要がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第4学年			
第5学年		(第4学年時)	
第6学年	※第5学年では測定していないため、結果はなし。	(第5学年時)	(第4学年時)

(2) 分析（観点別）

① 第4学年

知識・技能	思考・判断・表現

② 第5学年

知識・技能	思考・判断・表現

③ 第6学年

知識・技能	思考・判断・表現
目標値に対し7.6割上回った。 全体として「聞く」問題に関しては数値が高いが、「書く」問題の正答率が低く、「アルファベットの書き」の小問では目標を少々下回っている。	目標値に対し8.7割上回った。 殆ど、どの小問でも目標値を上回ったが、「週末の予定」における小問のみ目標値を下回った。

3 授業改善のポイント（観点別）

（1）低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・歌や踊り、チャンツを通して英語に慣れ親しみ、児童たちがより英語に慣れ親しめるよう英単語を反復する機会を増やしていく。	・児童たちが自分たちの話したいことや表現したいことを支援するために、ジェスチャーやリアクションの大切さも同時に指導していく。	・児童が活動に主体的に取り組めるよう自分の思いや考えと一緒に共有できるような題材を選び、楽しく学習できるよう授業作りを工夫していく。

（2）中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・自分たちに身近な話題を他の国の文化と比較することで、言語だけでなく文化の違いにも気づかせるよう指導していく。	・自分たちの言いたいことを言えるようになるだけでなく、相手の話していることを理解したいと思わせるような言語活動を設定し、指導していく。	・児童が活動に主体的に取り組めるよう、自分の思いや考えを友達と一致させたり、協力したりできるような題材を選び、意欲的に学習に参加できるような言語活動を設定していく。

（3）高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・英単語や表現に慣れ親しめるよう、児童同士が英会話をする時間を毎時間必ず確保する。 ・英単語や表現を、四線を使って高さに注意して正しい形で書けるよう指導していく。	・普段の会話や活動などにおいて児童が英語を使って発表したいと思えるよう、自由に表現したり発表したりする雰囲気、環境を整えていく。	・言語活動の中で、児童が「話したい」「英語を使いたい」と思わせるような場面状況を充実させ、主体的に取り組めるよう指導していく。

4 重点指導事項

○日々の英会話や授業での活動を通して、英単語や表現を繰り返し使っていくことで、知識への定着を促し、自由に使いこなせるよう使う機会や発表の機会などを多く設けていく。（知識・技能）

○想定する会話の場면을限定させるのではなく、現実的に起こりうる言語活動に設定することで、児童が課題に対して自由に発想し、表現できる機会をより多く設けていく。（思考・判断・表現）

○児童らが「話したい」「伝えたい」と思えるような言語活動を設定するべく、児童の立場にたった授業づくりを心掛け、指導を工夫していく。（主体的に学習に取り組む態度）